



かもい

横浜市立鴨居中学校
学校だより 6月号
令和4年6月28日

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamoi/>



どんな本に出会えるかな

校長 長島 和広

先日、図書委員からインタビューを受けました。図書だよりの記事にするそうです。「本は好きですか?」「どんなジャンルの本を読みますか?」など本にまつわるインタビューでした。最近では、趣味の本や仕事に関係する書籍ばかり読んでいますが、中学生の頃は漫画ばかり読んでいました。時に文庫本で小説を読むこともありましたが、それは、夏休みの宿題のためでした。当時、宿題で課される「読書感想文」はどれも苦手でした。

中学校1年生の夏、書店の文庫本コーナーで手にしたのが夏目漱石の「こころ」でした。なぜかという題名を知っていた「吾輩は猫である」の隣にあったのと220円と懐に優しくだったという単純な理由からです。帰宅して、読み始めると……「なんだか、ややこしい話だな」と感じたことを覚えています。なので、なんとなく最初の章のあらすじとなりそうな所に鉛筆で線を引いて、原稿用紙に写して、苦手な「読書感想文」の宿題を仕上げました。

でも、夏休みの宿題は翌年もあります。中学2年生の時は、同じ本でいいやといい加減な思いをもちながらも、同じものを出すほど勇気(?)はなく、次の章を中心に読んで、鉛筆で線を引き、適当にまとめて提出しました。そして、中学3年生の時も同じ本を読んで、最後の章を中心に読んで、提出しました。

高校に進学し、「読書感想文」から逃れることができましたが、高校2年生の時に「おすすめの本」を紹介する宿題がありました。この時もどんな本がいいか考えていましたが、漫画か SF 小説ばかり読んでいたので、「おすすめの本」にするには、どうかと思い、本棚にある夏目漱石「こころ」を引っ張り出して読んでみました。

その時、中学生の頃に鉛筆で線を引いたところを読み返すと、中学生の頃感じたことと、高校生になって感じたことが違うことに気づきました。「こころ」は、決してハッピーエンドではなく、人のエゴと向き合う話であることが、若い自分には何か惹かれるものがありました。

その後も大学浪人時代には、毎日のように「こころ」を読んで、自分の感じ方が違うことに面白さを感じ、人の「こころ」の揺れ動きを考えていました。今でも時々、自分を振り返る時に「こころ」を読み返します。

本校の学校図書館には、学校司書さんが常駐し、生徒の皆さんの興味関心に沿ったレファレンスをしてくれます。新たな本に出会って、まだ知らない自分を見つけられるかも知れません。生徒の皆さんには、授業以外にも学校図書館に足を運んでくれることを期待しています。





長崎修学旅行 6月5日～7日



3年ぶりの修学旅行が行われました。鴨居中学校の修学旅行は、総合的な学習の時間での平和学習の集大成としてのねらいがあります。訪問先の長崎は、被爆地として平和を深く考えることができる史跡が多くあることと、横浜と同じ開港の地として対比しながら歴史を学ぶことができる地です。

羽田空港を飛び立ったボーイング767は、レアな「鬼滅じぇっと」。座席のヘッドカバーやCAのエプロン、機内放送も鬼滅の刃仕様でした。ちょっとラッキーな気分で2泊3日の旅が始まりました。

初日の長崎は、雨が降ったり止んだりの天気の中、原爆資料館や平和祈念公園を巡りました。原爆資料館では、見学だけでなく、被爆者の体験談をうかがいました。戦後77年となり、当時の状況を知る被爆者の体験談を直接聴くことができるのは貴重な機会となっています。今回、お話いただいた山脇佳朗さんには、原子爆弾による被害の概要と長崎での被害状況とともに、ご自身が12歳の時に体験した父親を亡くした場面を克明にお話いただきました。一言では言い表せない衝撃を受けた表情をしていた生徒たちでしたが、今の自分たちの生活がいかに平和であるからこそ成り立っていること、過去の人たちの苦難の上に成り立っていることを感じたことがお礼の言葉からもあらわれていました。体験談をうかがった後、平和集会を行い、鴨居中学校「平和の誓い」を宣言しました。

- 1 今まで学んできたことを、これから学ぶことを忘れずに伝えていきます。
- 2 いじめやけんかなど、身近な争いごとをなくすようにします。
- 3 毎日生きていることに感謝し、自分の周りの人やものを大切にします。

この3つの行動目標を宣言し、自分たちのこれからの生き方を示しました。平和に向けた実践につなげ、日々を大切に過ごしていきます。

平和祈念像の前で、再度平和を祈念し、二つの千羽鶴を献納しました。一つはコロナ禍で訪れることのできなかった昨年度の3年生が想いを込めてつくったものです。二年越しの想いを伝えることができました。



二日目は、長崎市内の班別行動です。長崎市内の歴史的建造物を班ごとに巡りました。午後は長与町に移動しペーロン体験だったのですが……波が高く、海に出ることはできず、陸上での体験となりました。ペーロンは町ごとに作られ、対抗戦が行われるということで、地域の絆が大切だという話をうかがいました。夜には龍踊(じゃおどり)体験をしました。ここでは、長崎と中国の関係を感ずることができました。

三日目は、長崎ペンギン水族館の施設見学で環境問題を考えました。水族館が展示施設という面だけではなく、種の保存の役割を果たしていることやビオトープを通して生物多様性について学びました。

2泊3日の短い期間でありましたが、平和・歴史・環境といったSDGsの視点からも重要な課題について体験的に考えることができたかと思えます。これからの学びに生かしてほしいですね。



鎌倉校外学習 6月9日



2年生は鎌倉へ校外学習に行きました。大河ドラマで注目を浴びている鎌倉ですが、事前学習をもとに地理的な条件や寺社などの文化財の歴史的な位置づけを体験的に学びました。また、班別自主行動を通して、班員が交流するとともに、お互いに協力して規律ある集団行動ができることを目的としていました。

建長寺や円覚寺、長谷寺、鎌倉盧舎那仏……班ごとに訪れた寺社は異なるかと思いますが、それぞれの特徴をつかむことができたでしょうか。先人が残したもののからその時代の人たちの生活や文化がみえたことと思います。

来年度の修学旅行に向けて、歴史的な文化財から学ぶことや体験から学ぶことの楽しさを深めることができたでしょうか。この経験からステップアップした学びを進めましょう。

放課後自習室 6月14日・15日

地域コーディネーターとボランティアの皆さんのご協力で定期テスト前に放課後自習室を開催しました。定期テストに向けた動機付けができればという鬼丸副校長のアイデアで開催しました。両日で130名ほどの生徒が参加し、熱心にテスト勉強に取り組んでいました。



「なかよしプロジェクト」始動 6月22日



横浜子ども会議鴨居中ブロック会議を鴨居中学校生徒会が中心となって緑小・竹山小の児童と共に開催しました。「いじめぼくめつ」に向けて3校でテーマと取り組むことを議論しました。今年のテーマは「なかよしプロジェクト」。お互いの良さを知り、尊重できる関係をつくる活動を始めます。この取組を8月30日に開催される緑区横浜子ども会議で発表します。



卒業生からの贈り物

先日、卒業生から贈り物が届きました。人を感知して作動するデジタル体温計です。二十歳になり、学校のためにと有志を募って贈ってくださいました。卒業してからも鴨居中学校のことを想ってくれていることに感激するばかりです。これからも鴨居中学校の応援してください。ありがとうございました。

「どこでもスタディ」を進めています

本校では、誰一人取り残さない教育を目指して、いわゆる不登校生徒や登校に不安を抱える生徒への支援をするための「和み(なごみ)」ルームの運営を行っています。

ここでは、市教委「校内ハートフル事業」により常駐職員が配置され、学びの保障とともに自立に向けた支援を行っています。デジタル教材による学習やオンライン学活、キャリア教育など、生徒一人ひとりの状況に応じた学びとつながり続けることを大切にしています。「和み」での学びと自宅での学びを結びつけて「どこでもスタディ」できるようICTの活用も進めています。「和み」ルームの利用に際しては、面談等の手続きが必要となりますので、詳細は担任もしくは生徒指導専任にお問い合わせください。



7月の主な予定

- 7月5日～8日 三者面談
- 7月7日 区個別支援学級交流会
- 7月13日 体操着販売(14:15～45)
- 7月14日 非行防止教室
- 7月20日 全校集会
- 7月21日 夏季休業開始(～8月26日)
- 8月29日 授業再開・全校集会

水分は多めに持ち歩く!!

暑さが厳しくなりました。熱中症予防のため適切な水分補給をお願いしています。

部活動の遠征や練習に参加する生徒は、余裕をもった水分の持参をお願いします。感染症対策により、衛生管理が難しい冷水器は、一昨年より使用停止をしております。

なお、校内の水道は直結水管で飲用水です。定期検査を行い衛生管理がされており安全です。